

F.NOVEL-1

我輩は「線」である I

我輩は「線」である。
ゆらゆらと浮遊する屋下がりの玉響
(たまゆら)に、我輩の存在価値を憂う。
有象無象が猛烈な早さで飛び交う現代
社会では、動くことのない我輩は果た
してどのような存在なのだろうか。
もしすべてのものが動き続けるのなら
ば、旅人は目印を失い、渡り鳥は羽を休
める場所を失い、毎夕刻、子どもたちは
帰る家すらも失うだろう。我輩は、思う
に「山の如し」とばかりに動かないこと
で信頼されている部類なのである。
じきに日が落ちる。子どもたちが家路
についている。家々が灯り出す。
我輩も、子どもたちを迎え入れるあの
「優しい灯り」になれていくだろうか。
全身が少しだけ、ビリビリと痛む。

エネルギー
情報通信

200μmファイバ実装の光ケーブル、対応心数を拡充

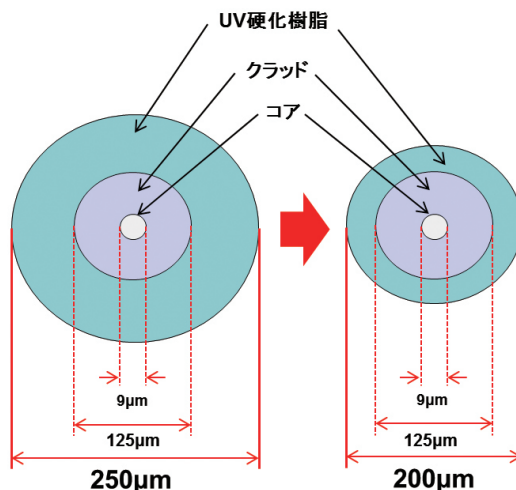
当社は、200μmファイバを実装した光ケーブル Wrapping Tube Cable® (WTC®) の製品ラインナップを拡充いたしました。

これまで200μmファイバ実装のWTCは3,456心と6,912心をリリースしてきましたが、今回新たに864心と1,728心を販売開始致しました。近年、動画配信やクラウドサービスが普及する中、5GやIoTに対応するため、光ファイバネットワークのさらなる大容量化が求められています。特に世界の大都市では地下管路の不足が顕在化し、限りあるスペースにより多くの心数を布設したいという要求が強まっています。これらのニーズに対応するため、当社独自技術の12心間欠着型光ファイバリボンSpider Web Ribbon® (SWR®) に200μmファイバを適用することで250μmファイバを適用した従来のWTCと比較して細径化、軽量化を実現いたしました。

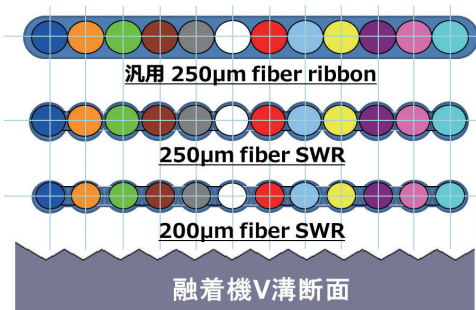
200μmファイバSWRは250μmファイバSWRとファイバ間の整列ピッチを揃えた構造です。そのため、200μmSWR相互の一括融着はもちろんのこと、汎用の250μmファイバリボンや250μmSWRとの一括融着接続においても、既存の融着接続機を利用することが可能です。したがって、新規に200μmファイバリボン専用の融着接続機を購入する必要が無く、施工費用を抑えることに寄与します。また、細径かつ軽量であることから長尺巻きが可能となり、融着点削減や輸送費削減にも貢献します。

今後も多様な製品ラインナップと対応心数で顧客ニーズに適した製品の開発、製造に尽力して参ります。

● 250μmと200μmファイバ比較



● SWRファイバピッチ構造



● 200μmWTC製品一覧

心数	864	1,728	3,456	6,912
外形(mm)	15.5	20.5	26.5	35.0
質量(kg/km)	160	290	435	765

展示会情報

第11回データセンター展 春に出展

日時 2019年5月8日(水)～10日(金)
10:00～18:00 (最終日のみ17:00終了)

場所 東京ビッグサイト 西2ホール
(フジクラブース 西8-80)

当社は、5月開催の「第11回データセンター展 春」に出展します。

このデータセンター展は、クラウド・IoT関連の技術総合展『Japan IT Week 2019 春』の一環として開催され(推定出展数 1,600社、来場者9万人)、電源・空調・ラック、運用管理、配線材料などの、データセンター構築、運用に関わるソリューションが一堂に会する専門展です。

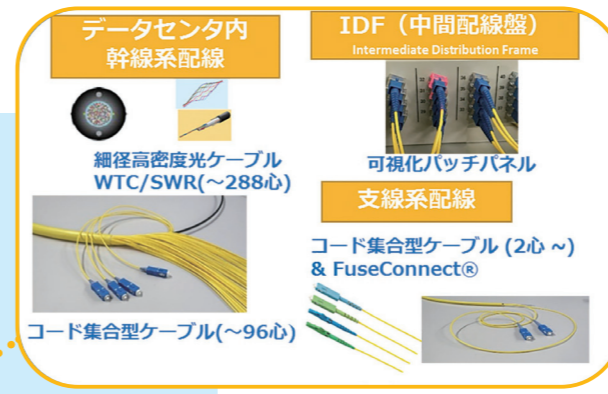
当社は、2016年から出展しており、今回で4年連続4回目の出展となりますが、毎年多くのお客様にご来場頂き、「つなぐテクノロジーの分野で、お客様に最も信頼されるパートナーになる」を合言葉に、当社のデータセンター向けソリューションを体感して頂いております。

特に今回は、次世代データセンターに欠かせない各種配線ソリューション(DCIインフラソリューション、クラウドソリューション、保守・運用ソリューション)をわかりやすくビデオプレゼンテーションを行うほか、DC配線の要素技術を展示します。

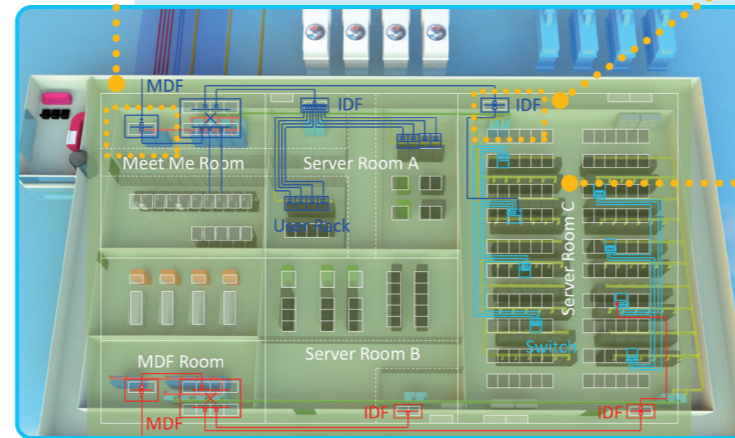
MEET ME ROOM



MDF-SERVER ROOM



SERVER ROOM



● データセンタ内配置図

主な展示

データセンタインターコネクト(DCI)及びデータセンタ内幹線用光配線ソリューション

データセンタ間の相互接続やデータセンタ内のルーム間の接続ニーズにお応えした、細径高密度型光ファイバケーブル(SWR/WTC)を用いた超多心光配線ソリューションをご紹介します。

クラウドソリューション

40G/100Gbpsの高速大容量伝送や、400Gbpsなどの次世代高速大容量伝送を実現する、MPOコネクタ配線ソリューションをご紹介します。

保守・運用ソリューション

設計フリー・余長フリーで短時間施工、輻輳対策が実現可能な、融着型現場組立コネクタや、光ネットワーク構築時のコネクタ清掃、端面観察による回線品質の向上、配線撤去・入替時の誤抜去防止をご紹介します。

皆様のご来場を心よりお待ちしております。

データセンタ事業開発室 telcon@jp.fujikura.com

自動車電装

ヒータ & SBRハイブリッドデバイス

当社は、自動車のシートベルト着用を促すシステム(シートベルトリマインダ:SBR)において、シート座面に内蔵して乗員の着座を検知するためのセンサを開発・設計・販売しています。このセンサは、印刷技術にて導電性回路を形成するメンブレンスイッチデバイスを応用したもので、薄く柔らかい、形状や感度の設計自由度が高い、などの特長があり、10年以上の市場実績を有しています。一方、高級グレード車や寒冷地仕様車には、同じシート座面に内蔵するもう一つの装置としてシートヒータがあります。直接加温による乗員の温感快適性に加えて、昨今ではEV車の暖房

時消費電力の削減性能が期待されています。これら同じ座面に装備される二つの装置を一体化し、高機能化と低コスト化の両立を目指してヒータ & SBRハイブリッドデバイスを開発中です。従来のシートヒータのヒータ部は電熱線を展開配置したものが多く、通電により電熱線すべてが発熱する仕組みです。シート部位に配置する加温面積や加温形状の設計自由度が増し、またSBRセンサ連動で離着席時のオンオフ制御も可能となるなど、効果的な乗員加温と効率的な省エネ性能を実現します。



● シートヒータ、SBR装着シート

● ヒータ & SBRハイブリッドデバイス

● IR画像

自動車サブカンパニー automotive@jp.fujikura.com

お知らせ

バイオガーデン「フジクラ 木場千年の森」のご紹介

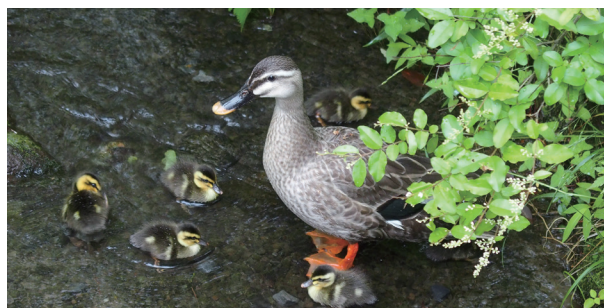
当社グループは、今から約8年前の2010年11月に本社のある東京都江東区に人と自然を“つなぐ”バイオガーデン「フジクラ 木場千年の森」を創設しました。ここでは、関東在来の樹木や荒川流域から採取した魚を池に放流するなど、数百年前の武蔵野台地の豊かな森や林を再現するために在来種にこだわり、生物多様性に配慮した設計になっています。

「フジクラ 木場千年の森」では、当社グループの取り組みを皆様にご説明する機会として、ビオトープ説明会を開催したり、地元の小学校の自然教育活動や行政主催のエコツアーなどにもご利用いただいています。

また、2017年には東京都が制定した「江戸のみどり登録緑地」の優良緑地にも登録されました。この制度は、建築物等の敷地において、東京に自然分布している植物(在来種)を植栽することで、昆虫や鳥など動物も含め、東京の生きものに適した環境を回復させるための取り組みとして東京都が制定した在来種植栽登録制度です。当社の在来種にこだわった生物多様性の取り組みが評価され、登録されました。

「フジクラ 木場千年の森」は地域の皆様にも見守られ、現在はカルガモやカワセミの雛が巣立つほどに森が成長し、都会にいることを忘れさせてくれる空間になっています。

お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。



●カルガモの親子

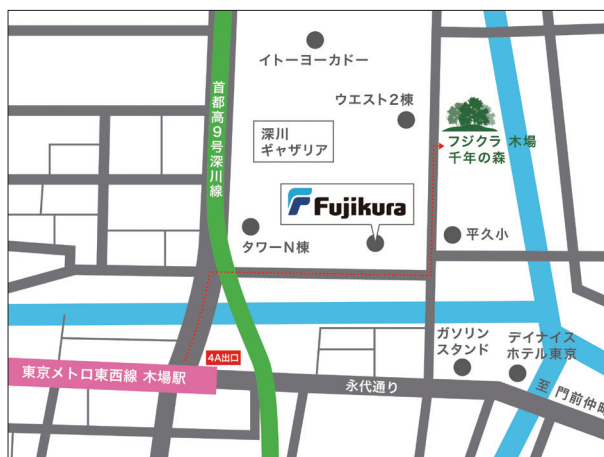


●産卵場所を求めて飛来したつがいのカワセミ

施設案内

開園時間：4月～9月 7:00～18:00
10月～3月 7:00～17:00
(入場は無料)

場所：深川ギャザリア内
(フジクラ本社すぐ東京都江東区木場1-5-1)



✉ CSR推進室

fjk.csr@jp.fujikura.com

Fujikura 株式会社フジクラ Fujikura Ltd.

“つなぐ”テクノロジー 製品ニュース No.453
発行：2019年4月 編集兼発行責任者：森本 朋治
〒135-8512 東京都江東区木場1-5-1
<http://www.fujikura.co.jp>

営業企画部 TEL:03-5606-1092
関西支店 TEL:06-6364-0373
中部支店 TEL:052-212-1880
東北ブロック TEL:022-266-3344
九州ブロック TEL:092-291-6126

